

# 北陸民放クラブだより

## 富山 第13回なかま美術展開く

2年振りの展覧会が10月24日から3日間、昨春一新した県民会館ギャラリーで開催されました。

今回は日本画・洋画・書・写真・おし花・篆刻ほか、新たに陶芸が加わり心ゆかしい作品49点です。

県展賞に輝いた日本画「冬のはじまり」(長谷川章子氏)は田んぼの雪と薄氷を画面全体でとらえ、澄んだ空気が伝わってきます。書では「登龍門」(城野智江氏)は草行書で淡墨の滲みを、縦1.8mの二六和紙に記憶させ、会場に偉容を放ちました。



「二期一会」シリーズ(大森善子氏)は遊芸の心満載。洋画の「軌跡」(堀井国弘氏)2点は心の奥底から色彩の調和を強調し、抽象表現的な作風。押し花(米田照子氏)は花色の豊かさを、篆刻(常川恭子氏)は繊細な技量が。

写真「サハラ朝」(西村勇氏)

は朝陽に染まった黄土色の砂漠とブルーのターバン、光影の風紋がやがて襲ってくる熱波を予感させます。

美術部会は自然永遠奥深く、秘められた未知への美の挑戦です。

## 石川

### 三県合同イベント

#### 「堪能」の連続

八田 静輔(MRO)

昨年は北陸三県の合同イベントが続きました。石川では毎年、能登の祭りを中心に「故郷の祭り企画」を催しています。

昨年は、NHKの朝ドラ『まれ』



御陣乗太鼓

かけたところ、両県から8名が参加。総勢22名となりました。

北陸民放クラブが発足してから初めて富山・福井・石川三県の民放クラブが一堂に集う行事となりました。

8月23日の「輪島大祭」では、きりこの渡御、御陣乗太鼓の熱演、深夜の大松明に能登の祭りの醍醐味を堪能しました

翌24日は、輪島の朝市や輪島漆芸美術館を見学。また、『まれ』の撮影現場の一つ、民宿「桶作」なども見学しました。

主役をつとめた土屋太鳳さんが突然現れ、地元の人たちと一緒に太鼓を打つ場面に出くわしたのもラッキーと言わなければいけません。

更に昨年は、福井主催の「芋煮会」に参加。地物の食を堪能。11月26日の富山主催の「京都紅葉ツアー」に参加し、紅葉を堪能、堪能の三連続でした。北陸三県が一段と近くなった感じがしました。

## 福井

### 富山・石川からの初参加で

#### 大盛況の「芋煮会」

小川 忍(FTB)

近年、「天空の城」として脚光を浴びだした「越前大野城」から車で10分ほどにある福井県大野市柿

ケ島。普段は閑静な山間ですが、昨年10月24日は明るい声が奥越の山々にこだましていました。「福井」恒例の秋の幸楽会は、三



楽しいひとときでした

年連続で山村咲子さん(FBC)のお宅を開放していたのだいての「大芋煮会」を実施。

今回は、福井の会員のみならず、富山・石川両県から25名もの参加があり、総勢53人の大所帯となりました。

この地特産の「上庄里芋」は煮崩れしにくいと評判、煮ところがし、里芋おこわ、中野会長(FTB)自らが釣りあげた鮎、手打ち蕎麦など卓上には所狭しと馳走が並び、久しぶりに顔を合わせた人達は美味しそうに箸を運びながら往時を思い出し、懐かしく会話を楽しんでいました。

北陸三県の民放クラブが相互乗り入れで行ったイベントは、昨年3回あり、徐々に輪が広がっていることに民放OBの結束の強さを感じている昨今です。